

ご存じですか！文化財

「入定塚」
にゆうじょうつか

39



問合せ
騎西教育事務所
☎0480・73・7610



皆さんの地域には、さまざまな風習や伝説があることでしょう。今回の「入定塚」はご存じでしょうか。騎西地域には4つの入定塚があります（上崎地内2か所、上種足地内、戸室地内の4塚）。

入定とは、真言密教の究極的な修行の一つとされていて、土中に木室（大樽）を埋め、その中へ竹筒で空気孔を設け、断食をしながら鉦を鳴らし読経します。

やがて音が聞こえなくなり仏となるといわれています。騎西地域にある塚はすべて村境にあります。

上種足④、戸室③地内の塚は、行者・僧侶が入定したとされ、上崎①②地内の2つは、老人・老婆が入定したといわれています。

上崎長宮耕地①の塚主は酒が好きで、土中に入った後、酒を筒から流し入れ、それを飲みながら鉦を鳴らし、その音が聞こえなくなるまで酒を注いだそうです。その後、酒が好きな塚主のために松尾大明神として祭ったと聞いています。また、小高かった塚を東側に移した時に刀が出たが、鉦に作り替えたという伝承もあります。この塚は道路の拡張により、面積が半分になってしまいました。

このような塚の伝説も消えてしまいそうな時代、形がないものも言い伝えることも、わたしたちの大切な役目だと思えます。



入定塚（上崎川棚耕地地内）

紹介者 新井 敏夫さん（上崎）